

2020 年 11 月 24 日

アムンディ・マルチセクター債券ファンド 2020-12（限定追加型）

（愛称：ブレンド・ボンド™ 2020-12）

本日より、りそな銀行および埼玉りそな銀行で取扱開始

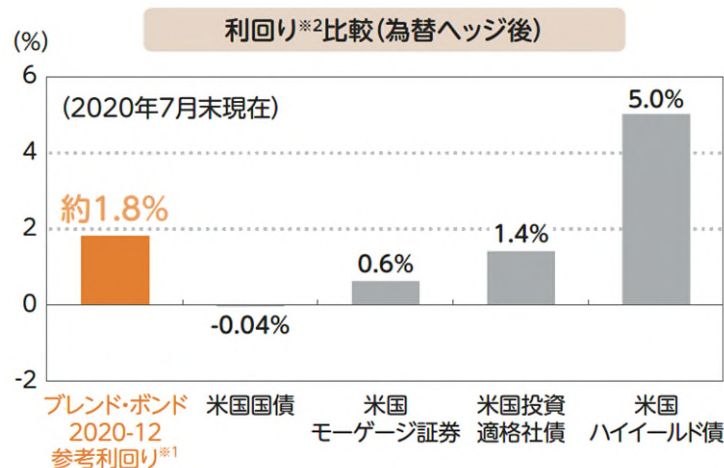
アムンディ・ジャパン株式会社

アムンディ・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：ローラン・ベルティオ）が設定・運用する投資信託
アムンディ・マルチセクター債券ファンド 2020-12（限定追加型）（愛称：ブレンド・ボンド™ 2020-12）は、
本日より、りそな銀行および埼玉りそな銀行で取扱開始いたします。

ブレンド・ボンド™ 2020-12（以下「当ファンド」といいます。）は低金利時代に魅力的な利回りを追求することを目指した債券ファンドで、実質的に米ドル建を中心とする世界の様々な債券に投資し、徹底した分散投資と為替ヘッジを行うことによりリスクを抑制し、安定した運用を目指しています。

1. 好水準の利回りを追求

当ファンドは好水準の利回りを追求する、米ドル建の外国投資信託、「Amundi Funds パイオニア・ストラテジック・インカム - I2 USD QD」（以下、「主要投資対象ファンド」といいます。）を主要投資対象とし、ポートフォリオの平均格付は、原則として投資適格（BBB-以上）とします。柔軟に債券を組み合わせることで、好水準の利回りの維持を目指します。2020 年 7 月末現在で当ファンドの参考利回り※1 は約 1.8%と米主要債券に比して好水準です。



※1 参考利回りは、2020 年 7 月末現在の情報によりアムンディ・ジャパンが算出。信託期間中に約 1.8%の投資収益が得られることを示唆または保証するものではありません。

※2 各資産の利回りから、米ドル円相場の 3 カ月フォワードを基に参考値として算出した為替ヘッジコストを控除しています。

TM=商標登録出願中

2. 徹底した分散投資

主要投資対象ファンドの 2020 年 7 月末現在の組み入れ銘柄数は、943 銘柄にのぼります。割安度合い等を見極めた徹底した分散投資と為替ヘッジによりリスクの抑制を図ります。

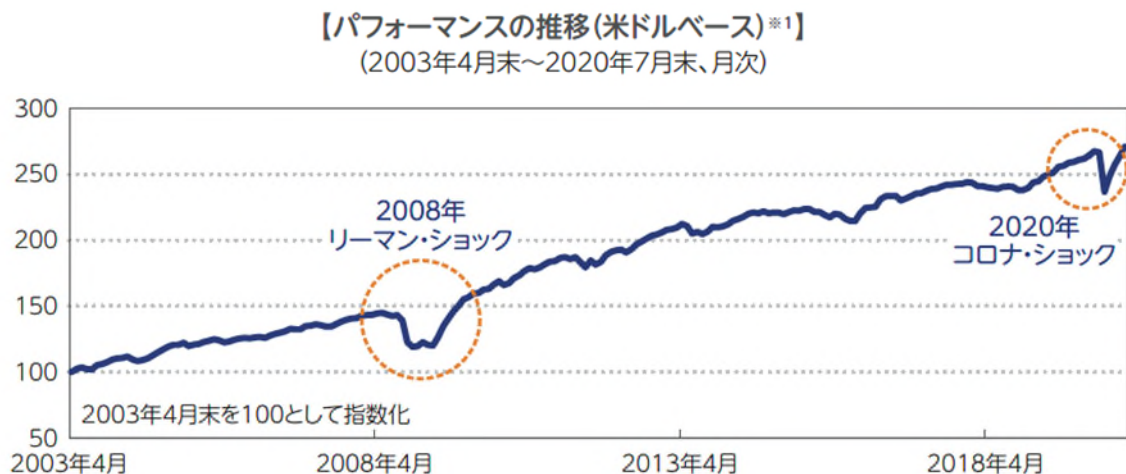
3. 限定追加型（償還期限付）

当ファンドの信託期間は約4年6か月、2020年12月28日から2025年6月30日です。このような償還期限付ファンドは運用会社が運用に適した期間を検討した上で設定しているため、投資家の皆さまは買い時、売り時を意識し過ぎず、リスクを抑えた運用をお任せできることが特徴となります。資産運用への障害になりがちな、投資知識がないこと、値下がり（損失）への不安に対しても、償還期限付の商品がその解決策（ソリューション）になると考えます。詳しくは、リテール・ソリューション・レポート vol.10「償還期限付ファンドを長期資産形成の第一歩に ～単位型・限定追加型ファンドの活用で「貯蓄から投資」の壁を取り除く～」をご覧ください。

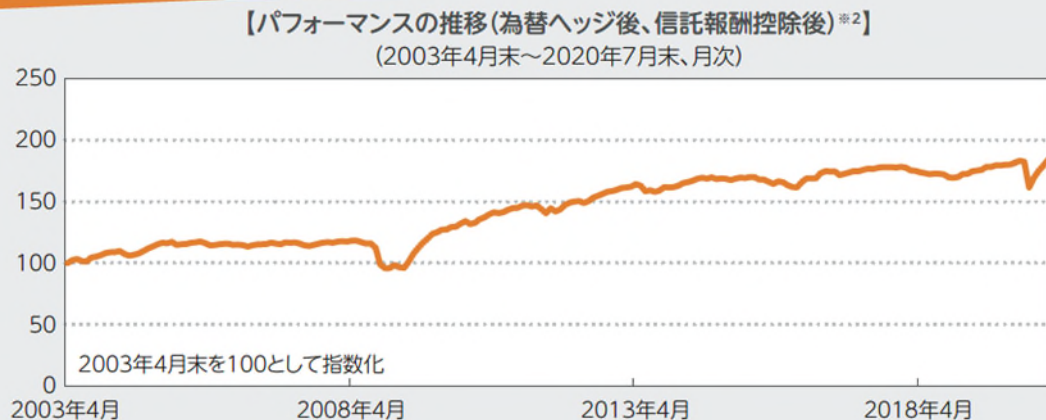
https://www.amundi.co.jp/distributor/retail_solution/vol10-20201105.html

4. 主要投資対象ファンドの運用実績（2020年7月末現在）

当ファンドは、「Amundi Funds パイオニア・ストラテジック・インカム - I2 USD QD」（主要投資対象ファンド）に投資します。下記は、長期の運用実績を有し、主要投資対象ファンドと同様の運用で決算頻度の異なる「Amundi Funds パイオニア・ストラテジック・インカム - I2 USD」（無分配）（以下、「主要投資対象ファンド（無分配シェアクラス）」といいます。）の過去の実績です。当ファンドの将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。



【ご参考】為替ヘッジをした場合



※1 主要投資対象ファンド（無分配シェアクラス）の費用控除後を使用しています。

※2 主要投資対象ファンド（無分配シェアクラス（米ドルベース、費用控除前）の月次リターンに前月末の円と米ドルのそれぞれの短期金利（円:1ヵ月 LIBOR、米ドル:1ヵ月 LIBOR）の差（「円-米ドル」、マイナスとなった場合コストとなる）を加えたものを、リターンとみなして算出し、信託報酬※4の実質的な負担の上限年率 1.553%（税込）を控除しています。

【ポートフォリオの特性値】

ポートフォリオ利回り ^{※1} (米ドルベース)	3.81%
実効デュレーション	4.52年
平均格付 ^{※2}	BBB
銘柄数	943

※1 主要投資対象ファンドの保有する債券の途中償還等を考慮した利回りです。

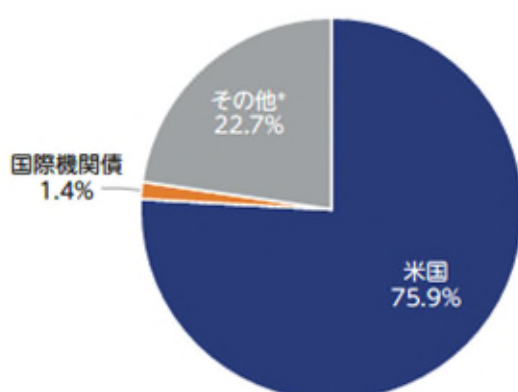
※2 平均格付とは、基準日時点で主要投資対象ファンドが実質的に保有している有価証券の信用格付を加重平均したものでありファンドの信用格付ではありません。

【債券種類別組入比率】

債券種別	比率
モーゲージ証券・資産担保証券	33.3%
投資適格社債	25.3%
ハイイールド債	20.1%
新興国債券	9.0%
国債	4.0%
転換社債	2.0%
地方債	0.1%
現金等	6.2%

・ハイイールド債にはイベントリンク債を含みます。

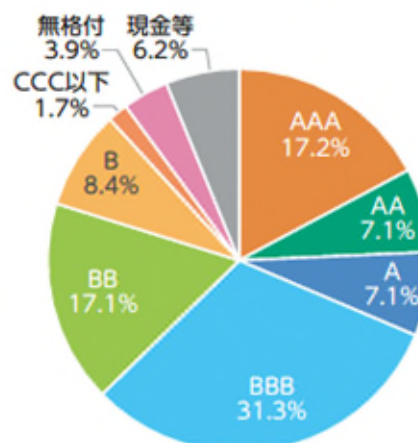
【国別組入比率】



*15カ国以上

・国別組入比率は組入債券評価額比です。

【格付別組入比率】



・債券種類別組入比率、格付別組入比率は純資産総額比です。

四捨五入の関係で合計が100%とならない場合があります。

【ブレンド・ボンド2020-12参考利回り^{※3}】

①ポートフォリオ利回り (米ドルベース)	②為替ヘッジコスト ^{※4}	③信託報酬(税込) ^{※5}	ブレンド・ボンド2020-12 参考利回り(①-②-③)
3.81%	0.45%	1.553%	約1.8%

※3 主要投資対象ファンドの保有する債券の途中償還等を考慮した利回り(ポートフォリオ利回り(米ドルベース))を基に、2020年7月末現在の為替ヘッジコストと信託報酬を控除したものです。将来の利回りを示唆または保証するものではありません。

※4 為替ヘッジコストは、2020年7月末現在の米ドル円相場を3ヵ月フォワードを基に参考値として算出したものであり、実際の為替ヘッジコストとは異なります。

※5 信託報酬の詳細については、後述の手数料・費用等をご覧ください。

出所:アムンディ・バイオニア・アセットマネジメント・インク、ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

5. アムンディ・パイオニア・アセットマネジメント・インク

当ファンドの実質的な運用は、アムンディ・パイオニア・アセットマネジメント・インク（アムンディ・パイオニア）が行います。アムンディ・パイオニアの前身は、1928 年設立の長い歴史を持つ米国最古の運用会社のひとつパイオニア・インベストメンツで、2017 年 7 月、アムンディとの統合により、アムンディ・パイオニアとなりました。運用経験平均 24 年超*のポートフォリオマネジャーが、平均約 20 年*の経験豊かなアナリストと協働し、世界の様々な資産を投資対象としたバリュー投資を行っています。

* 2020 年 9 月末現在

アムンディ・ジャパンは、長期的な観点で皆さまの資産形成の一助となるよう、引き続きお客さまの様々なニーズに応える商品開発に努めてまいります。

(以下余白)

投資リスクについて

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として株式など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります。）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。ファンドの基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、為替変動リスク、流動性リスク、カントリーリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因（投資リスク）はこれらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還や収益分配金に関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

手数料・費用等

<投資者が直接的に負担する費用>

購入時手数料	当初申込期間:1口につき1円に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。 継続申込期間:購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。詳しくは販売会社にお問合せください。	
	購入申込総金額	手数料率
	300万円以上1億円未満	1.1%(税抜1.0%)
	1億円以上	なし
※収益分配金の再投資の際には購入時手数料はかかりません。 ・商品や関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として販売会社にお支払いいただきます。		
信託財産留保額	ありません。	

<投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用>

運用管理費用 (信託報酬)	フ ァ ン ド	信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し 年率0.803%(税抜0.73%) を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上されます。 [信託報酬の配分]	
		支払先	料率(年率)
		委託会社	0.15%(税抜)
		販売会社	0.55%(税抜)
		受託会社	0.03%(税抜)
		[支払方法] 信託報酬は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期間末または信託終了のとき投資信託財産中から支弁します。	
	投資対象とする 投資信託証券	名称	料率(年率)
		Amundi Funds バイオニア・ストラテジック・インカム-I2 USD QD	0.75%以内
		CAマネーブルファンド(適格機関投資家専用)	0.385% (税抜0.35%)以内
実 質 的 な 負 担 の 上 限		純資産総額に対して 年率1.553%(税込) ファンドの信託報酬年率0.803%(税込)に投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの(年率0.75%)を加算しております。ファンドの実際の投資信託証券の組入状況等によっては、実質的な信託報酬率は変動します。	
◆上記の運用管理費用(信託報酬)は当資料作成日現在のものです。			
そ の 他 の 費 用 ・ 手 数 料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。) ・投資信託財産に関する租税 等 ※その他、組入投資信託証券においては、ルクセンブルクの年次税(年率0.01%)などの諸費用がかかります。 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。		

アムンディについて

アムンディはフランス・パリに本拠を置き、世界 6 都市の主要な運用拠点^{※1}を通じて約 206 兆円^{※2}の資産を運用する、欧州 No. 1^{※3}、世界トップ 10^{※3}の資産運用会社です。2015 年 11 月ユーロネクスト・パリ市場に上場し、世界 37 の国・地域の事業拠点で競争力の高い運用ソリューションを提供しています。アムンディの一貫した目標は、日本でもグローバルでも、お客さま本位のビジネスの実行で、個人投資家および機関投資家に対し、革新的で透明性の高い運用ソリューションの提供に努めています。

アムンディ 信頼されるパートナー

日々、お客さまと社会のために

公式ウェブサイト：amundi.co.jp

- 1 主要運用拠点：ボストン ダブリン ロンドン ミラノ パリ 東京（アルファベット順）
- 2 運用資産額は、2020年9月末日現在。約1兆6,620億ユーロ、1ユーロ＝124.17円で換算
- 3 出所：インベストメント・ベンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ500社（2020年6月版、2019年12月末の運用資産額）に基づく。

本件に関するお問合せ先：アムンディ・ジャパン株式会社 広報室

e-mail：pr@jp.amundi.com

直通：03-3593-5700/9019

R2011016

当資料は、アムンディ・マルチセクター債券ファンド 2020-12（限定追加型）（愛称：ブレンド・ボンドTM 2020-12）へのご理解を深めていただくことを目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。当ファンドをお申込みの際には投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。